



沖公評第81号  
平成23年5月20日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業

評価監視委員会  
委員長 原 久夫



平成22年度 公共事業評価について (答申)

平成22年8月6日付け沖縄県諮問土第2号、平成22年9月30日付け沖縄県諮問土第13号及び平成23年2月3日付け沖縄県諮問土第23号で諮問のあったみだしのことについては、下記のとおりお答えします。

なお、事業の継続にあたっては、意見について十分留意していただくよう要望します。

## 記

### 1 審議結果

第1回委員会 平成22年8月6日

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 一般県道 110号線道路改築事業   | : 事業継続は妥当である。 |
| 主要地方道 沖縄嘉手納線道路改築事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| 白比川河川改修事業          | : 事業継続は妥当である。 |
| 真喜屋大川河川改修事業        | : 事業継続は妥当である。 |

第2回委員会 平成22年11月5日

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 西屋部川河川改修事業                 | : 事業継続は妥当である。 |
| 主要地方道 伊計平良川線道路改築事業         | : 事業継続は妥当である。 |
| 一般県道 具志川環状線道路改築事業          | : 事業継続は妥当である。 |
| 主要地方道 南風原知念線道路改築事業 (南部東道路) | : 事業継続は妥当である。 |

第4回委員会 平成23年3月10日

県営林道開設事業（楚洲仲尾線）	: 工事の休止は妥当である。
県営林道開設事業（伊楚支線）	: 工事の休止は妥当である。
県営林道開設事業（奥山線）	: 工事の休止は妥当である。
幕上東3期地区・県営畑地帯総合整備事業 （担い手育成型）	: 事業継続は妥当である。
漁港漁場整備事業（石垣市 石垣漁港）	: 事業継続は妥当である。
本部港（本部地区）港湾改修事業	: 事業継続は妥当である。
伊江港港湾改修事業	: 事業継続は妥当である。

2 意見

①一般県道 110号線道路改築事業

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし

②主要地方道 沖縄嘉手納線道路改築事業

- ・事業進捗率も90%を超えていることから、地域住民としてはこの計画の下で執行していただければと強く願う。
- ・未整備箇所がボトルネックになって、混雑を引き起こし、社会的損失を招いていることから、できるだけ早急な対応を願う。

③白比川河川改修事業

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし

④真喜屋大川河川改修事業

- ・予算が厳しくなっている中で、自然に残せる部分はそのまま残し、別の河川にその分の予算を配分するなどしていただきたい。多自然川づくりについても予算と親水性、利用頻度を考慮し、検討した上で整備を進めていただきたい。

⑤西屋部川河川改修事業

- ・この河川で守るべき生き物（レッドデータブックの対象種であるアガボウズハゼ、ルリボウズハゼ、ヒノコロモボウズハゼなど）をきちんと認識して、そのような生き物を守るには、河川をどのような構造で整備しなければいけないのか、十分に考えていただきたい。

⑥主要地方道 伊計平良川線道路改築事業

- ・未買収用地があると工事が進まないことから、適宜、土地収用法も活用して速やかに事業を進めていただきたい。

- ・費用便益比がほぼ1.0あるいは1.0を切る場合でも整備の必要な事業はでてくるものと思われる。その場合は、参考で構わないので、県独自に算定できる便益があれば、資料として提示していただきたい。委員としてはそれも考慮したうえで判断したいと思う。

⑦一般県道 具志川環状線道路改築事業

- ・事業効果を早く発現するために、適宜、土地収用法に基づく手続きに早める判断をして、早めに事業を進めていただきたい。
- ・事業期間が延びると全体的に損失が多く、県民にとっても不利益になると思われることから、遅れたことによる損失がどれくらいあるとの把握をして、その観点からの評価もしていただきたい。

⑧主要地方道 南風原知念線道路改築事業(南部東道路)

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし

⑨県営林道開設事業(楚洲仲尾線)

⑩県営林道開設事業(伊楚支線)

⑪県営林道開設事業(奥山線)

- ・工事の休止中は、事業の反対者である自然保護団体に対して、やんばるの自然の保全の観点も含め、細かく対話をされたほうがよいのではないかと思う。
- ・森林保全や森林ツーリズムなどを目的に使用する道は、作業道で十分なのではないかと思っているので、自然に対する負荷を最小限にするよう、作業道をどのようにつくっていくかが大きなポイントになってくると思う。
- ・自然保護のNPOの方々とは、地域が森林を壊さずにお金が入る部分と、自然保護の点からやめなければいけない部分とを明らかにして、丁寧に話し合っていたきたいと思う。
- ・ふれあい機会便益については、実態からかけ離れた効果額になっていると思う。事業の再開にあたっての評価をする場合には、実態に近い値になるような算出をしていただきたい。
- ・やんばるの森が沖縄観光のイメージづくりに一役買っている面もあることから、やんばるの森が荒廃すると沖縄の観光産業に影響を与えることも十分予測されるので多角的・多面的な検討を行っていただきたい。
- ・希少動物の保護、やんばるの方々の生活など多分野にわたる問題を抱えている中で、委員会において検討される利用区分が今後100年、200年の将来のやんばるのあり方を決めてしまうと思うので、その辺を重々認識して、この仕事を進めていただきたい。

- ・地元国頭村や森林組合等と密接な連携をとって、木をきるだけの木材生産を行う事業ではなく、森林の多面的な事業に従事できる林業者の育成を数値目標のもと取り組んでいただけたら、今後の林道の活用や木材生産にかかわる林業者の内容も変わってくるのではないかと思います。そうすることで、林道開設事業に対して、県民の理解を得られるような方向に向かっていくのではないかと期待している。

⑫幕上東3期地区・県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし

⑬漁港漁場整備事業(石垣市 石垣漁港)

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし

⑭本部港(本部地区)港湾改修事業

- ・社会情勢がいろいろ変わっていく中で大型クルーズ船が果たしてどのくらい誘致できるのか、できたのかというのは、今後ほかの港湾事業にも関連してくると思うので、しっかりとデータを整理していただきたい。
- ・地震の際に、この港は北部の物流の生命線となる港湾である。地震に対して耐震強化された岸壁は大丈夫でも岸壁に接続する道路部分が液状化などで壊れてしまうと結局岸壁まで入れないこともあり得るため、道路部分も壊れないような対策を十分考えていただきたい。

⑮伊江港港湾改修事業

- ・特に個別公共事業に関する事業評価に対しての意見なし